

2026年5月24日 聖霊降臨祭・ペンテコステ礼拝説教  
「絶えず喜びの声を挙げよ」（使徒言行録2章1～21節）

### ○使徒言行録2章1節のみことば

「五旬祭の日が来て、一同が一つになって集まっていると、」

問：弟子たちは心合わせて、なにをしていたのか？

「前にわたしから聞いた、父の約束されたものを待ちなさい。」（1章4節）

\*復活の五十日目、五旬祭の日、約束のものが降って来た。

「炎のような舌が分かれ分かれに現れ、一人一人の上にとどまった。」（3節）

問：なぜ神は、昇天の後に、聖霊を遣わされたのか？

### 今日のみことば：使徒言行録2章18節

「そのときには、わたしの<sup>れい</sup>霊を<sup>そそ</sup>注ぐ。すると、<sup>かれ</sup>彼らは<sup>よげん</sup>預言する。」

\*時が満ちた五旬祭の後、聖霊は信じる者すべてに注がれる。

問：神の御霊を受けた者は、なにを語るのか？

◎聖書朗読：使徒言行録2章23-24, 30-33節（新約P.216）

### ○使徒言行録2章32節のみことば

「神はこのイエスを復活させられたのです。わたしたちは皆、そのことの証人です。」

\*よみがえられたイエスに、救いと望みがあることを…

「それで、イエスは神の右に上げられ、約束された聖霊を御父から受けて注いでくださいました。」（33節）

①死と復活により、キリストは赦しと命の道を開いた。

②人々が救いを信じ、伝えるために、聖霊が遣わされた。

※わたしたちの教会も、聖霊の働く生きた御体となるように。